

株主メモ

事業年度	4月1日から翌3月31日まで
定時株主総会	6月
定時株主総会議決権基準日	3月31日
期末配当金支払株主確定日	3月31日
中間配当金支払株主確定日	9月30日
上場金融商品取引所	東京・大阪
公告方法	当社公告につきましては、下記ホームページに掲載いたします。 http://www.nichirei.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同 事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
〔郵便物送付先〕	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
〔電話お問合せ先〕	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-288-324 受付時間：9:00～17:00(土・日・祝日を除く)

ご案内

株主様の住所変更、単元未満株式の買取・買増請求その他各種のお手続きにつきましては、以下のいずれかの窓口にお申し出ください。

- | | |
|---------------------------|------------------------------|
| ①証券会社等の口座に記録された株式に関するお手続き | お取引の証券会社等 |
| ②特別口座に記録された株式に関する各種お手続き | みずほ信託銀行株式会社
(特別口座の口座管理機関) |



HOPPE

Vol.23

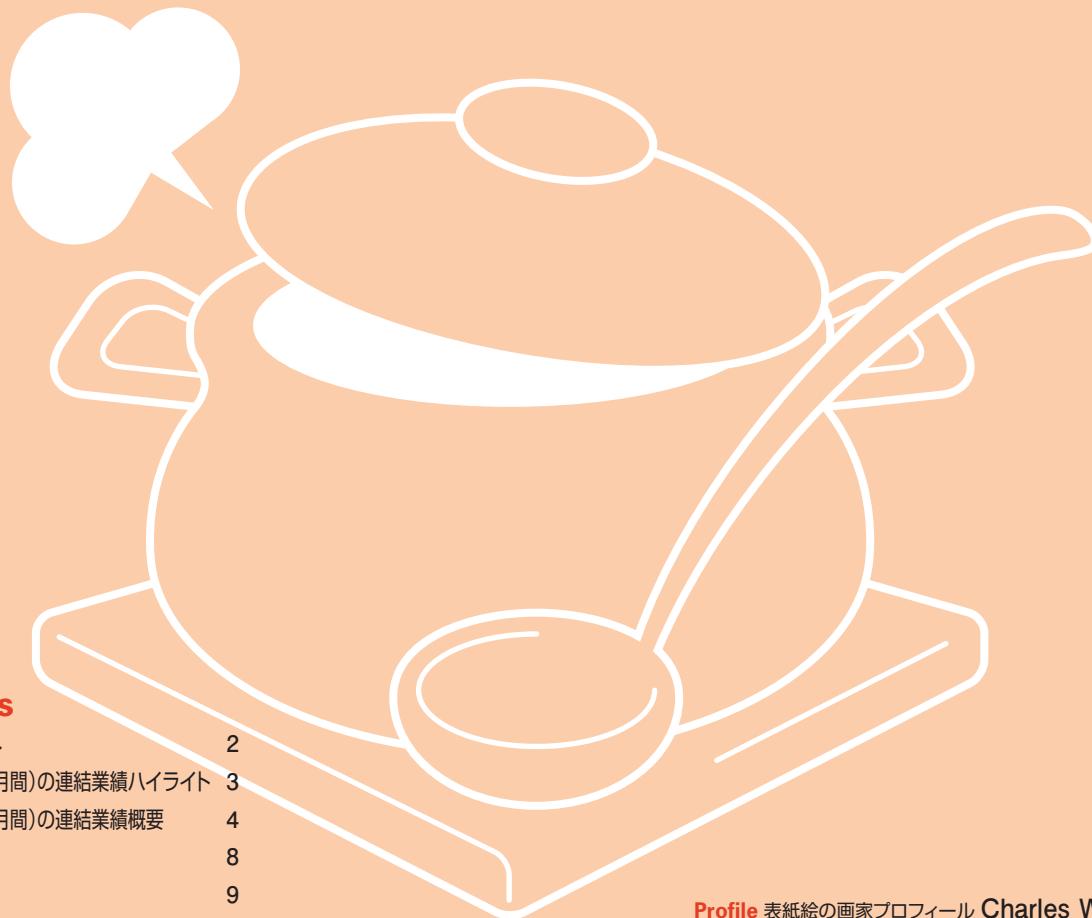
第92期中間 グループ報告書
 2009年4月1日～2009年9月30日



© Charles Wysocki, Inc. Licensed by Mosaic Licensing, Inc. through Mega Press Japan.

「おいしさ」と「新鮮」をネットワークする。

ニチレイは、品質へのあくなきこだわりと、培われた技術、新しいアイデア、グループ全体のネットワークによって、新鮮で、健康なおいしさをお届けし、笑顔のあふれる食卓を創り出していきます。



Contents

株主の皆様へ	2
第2四半期(6カ月間)の連結業績ハイライト	3
第2四半期(6カ月間)の連結業績概要	4
FOCUS	8
TOPICS	9
KEY WORD	11
INTRODUCTION	12
株式の状況	13
会社概要	14

Profile 表紙絵の画家プロフィール Charles Wysocki

アメリカ、デトロイトで幼少時代を過ごす。デザインを勉強後、絵を描き始める。休暇で出かけたニューイングランドの生活のテンポが彼の思考に合い魅了される。そこでの生活が彼の作品に影響を与え、ナイーブで彼の生き方を反映した作品に仕上がり、多くの賞を受賞。2002年7月没。

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

第92期中間グループ報告書をお届けするにあたり、日頃のご支援に心から厚く御礼申し上げます。

当第2四半期(6カ月間)のわが国経済は、昨年秋以降の世界的な金融システムの混乱が若干落ち着きを取り戻す動きが見られる一方、依然として企業収益の大幅な減少が続いていることから、完全失業率が過去最高水準に達するなど雇用情勢は一段と厳しさを増し、設備投資も継続して減少傾向にあり引き続き厳しい状況で推移しました。

食品業界におきましては、消費者の内食志向が強まり家庭用マーケットは回復傾向となるものの、大手小売業者によるプライベートブランド(PB=自主企画)商品の拡大など低価格化が進み、厳しい経営環境が継続しました。

また、物流関連業界におきましては、景気低迷による荷動きの低下に伴って高い水準にあった在庫量は減少する傾向であり、運送需要も低迷し引き続き厳しい状況が続きました。

このような状況のなか、当第2四半期(6カ月間)の連結

売上高は、景気低迷などの影響により前年同期比8.4%の減収となりました。連結営業利益は、全体の売上げが大きく落ち込むなか、低温物流事業でのローコスト運営の徹底や加工食品事業での商品アイテムの集約など利益の確保を図ったものの、前期に市況が好調であった水産事業や畜産事業が減益となったほか、低価格志向の影響などにより加工食品事業が振るわず前年同期比17.2%の大幅な減益となりました。連結四半期純利益は、前期に「リース会計基準の適用に伴う影響額」として特別損失計上した17億円がなくなったことや、アセロラ飲料事業の譲渡による「事業譲渡益」8億円を特別利益計上したことなどにより前年同期比18%の増益となりました。

当グループにおきましては、現下の目まぐるしく変化する事業環境に適切かつ迅速に対応した施策を実行することで、収益基盤を強化し、ステークホルダーの皆様のご期待に応えてまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2009年12月吉日

グループミッション・ビジョン

ミッション【使命・存在意義】

暮らしを見つめ、人々に心の満足を提供する。

ビジョン【めざす姿】

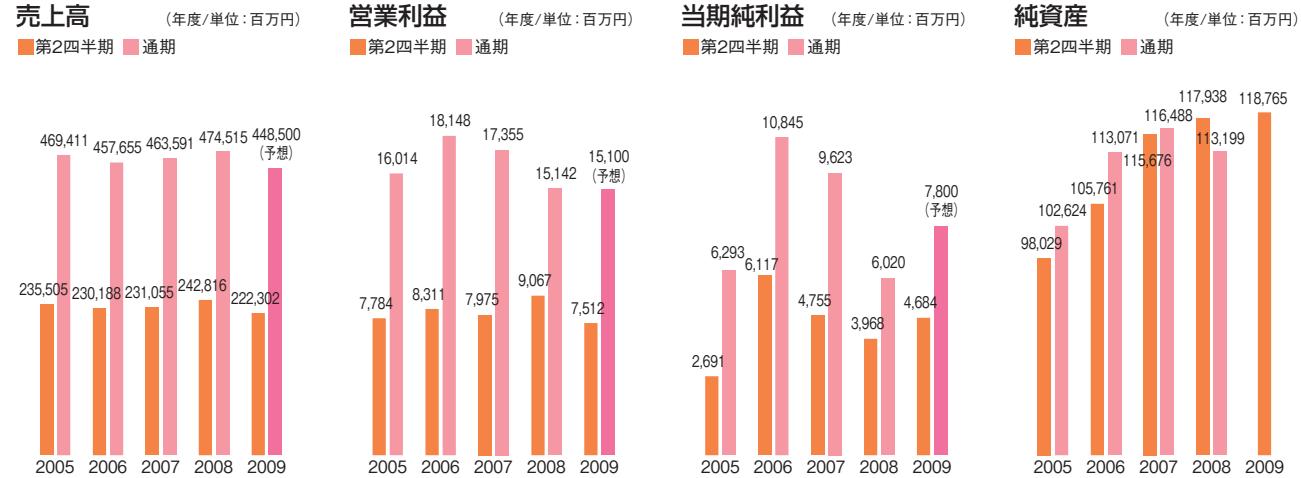
ニチレイグループは、卓越した食品と物流のネットワークを備える「食のフロンティアカンパニー」として、お客様にご満足いただける優れた品質と価値ある商品・サービスを創造・提供し、広く好感と信頼を寄せられる企業として、社会とともに成長します。



代表取締役会長 浦野光人

代表取締役社長 村井利彰

第2四半期(6カ月間)の連結業績ハイライト



(注) 1. 2005年度における「純資産」には、会計基準の変更に伴う少数株主持分は含まれていません。
 2. 連結通期予想(2009年10月27日公表)は、公表時点における情報に基づき判断されたものです。実際の業績につきましては、経営環境の変化等により記載した予想とは異なる結果になる可能性があります。

区 分	単位	2005年度 第2四半期	2006年度 第2四半期	2007年度 第2四半期	2008年度 第2四半期	2009年度 第2四半期
売 上 高	百万円	235,505	230,188	231,055	242,816	222,302
営 業 利 益	百万円	7,784	8,311	7,975	9,067	7,512
当 期 純 利 益 (四 半 期 純 利 益)	百万円	2,691	6,117	4,755	3,968	4,684
純 資 産	百万円	98,029	105,761	115,676	117,938	118,765

中間配当金

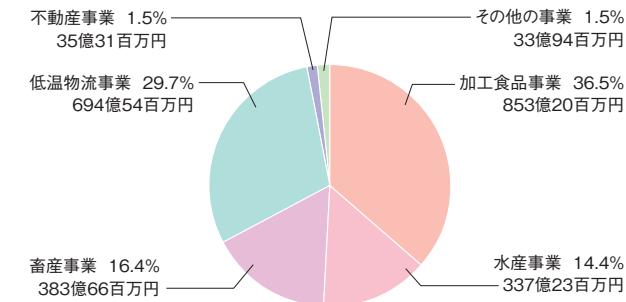
中間配当金は1株につき4円とし、2009年12月4日を支払開始日とさせていただきます。

第2四半期(6カ月間)の連結業績概要

売上高は、低温物流事業において国内は物流ネットワーク事業の新設物流センターの稼働で増収効果があるものの、海外は景気の低迷やユーロ安(円高)により大幅な減収、低価格志向の影響を受けた加工食品事業や水産・畜産事業においても取扱いが大きく落ち込んだことから2,223億2百万円(前年同期比8.4%の減収)となりました。

利益面では、全体の売上げが大きく落ち込むなか、低温物流事業でのローコスト運営の徹底や加工食品事業での商品アイテムの集約など利益の確保を図ったものの前期に市況が好調であった水産事業や畜産事業が減益となったほか、低価格化志向の影響などにより加工食品事業が振るわず、営業利益は75億12百万円(前年同期比17.2%の減益)、経常利益は営業利益の減少を受けて68億36百万円(前年同期比21.2%の減益)となりました。一方、四半期純利益は、前期に「リース会計基準の適用に伴う影響額」として特別損失計上した17億円がなくなったことや、アセロラ飲料事業の譲渡による「事業譲渡益」8億円を特別利益計上したことなどにより46億84百万円(前年同期比18%の増益)となりました。

セグメント別売上高構成比



セグメント情報

● 連結子会社数 75社 ● 持分法適用関連会社数 12社

第2四半期 2009年4月1日から2009年9月30日まで (単位: 百万円)

	売上高	営業利益
加工食品事業	85,320	521
水産事業	33,723	350
畜産事業	38,366	287
低温物流事業	69,454	4,079
不動産事業	3,531	1,867
その他の事業	3,394	150
計	233,791	7,256
消去または全社	(11,488)	256
連 結	222,302	7,512

前第2四半期 2008年4月1日から2008年9月30日まで (単位: 百万円)

	売上高	営業利益
加工食品事業	90,058	1,007
水産事業	39,465	772
畜産事業	47,001	668
低温物流事業	72,254	4,381
不動産事業	3,801	2,065
その他の事業	3,181	73
計	255,763	8,970
消去または全社	(12,947)	97
連 結	242,816	9,067

第2四半期(6カ月間)の連結業績概要

第2四半期連結貸借対照表(要旨) (単位:百万円)

区 分	第2四半期	前 期
	2009年9月30日現在	2009年3月31日現在
流 動 資 産	106,145	116,589
固 定 資 産	177,278	170,707
有 形 固 定 資 産	135,951	130,921
無 形 固 定 資 産	5,035	4,757
投 資 そ の 他 の 資 産	36,292	35,027
資 産 合 計	283,424	287,296
流 動 負 債	99,368	111,576
固 定 負 債	65,290	62,520
負 債 合 計	164,658	174,096
株 主 資 本	112,843	109,715
資 本 金	30,307	30,307
資 本 剰 余 金	23,711	23,711
利 益 剰 余 金	59,179	56,045
自 己 株 式	△ 354	△ 348
評 価 ・ 換 算 差 額 等	2,842	1,242
少 数 株 主 持 分	3,079	2,241
純 資 産 合 計	118,765	113,199
負 債 純 資 産 合 計	283,424	287,296

(注)1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。
2. ポイントにおける記載金額は億円未満を切り捨てて表示しています。

貸借対照表のポイント POINT

(括弧内は前期末比の増減)

総資産 2,834億円 (38億円の減少)

- 設備投資などにより有形固定資産が50億円増加したことに加え、投資有価証券の時価評価額の増加などにより固定資産は65億円増加
- 季節的要因により売掛金が増加する一方、長期資金の返済などにより現金及び預金が135億円減少し、流動資産は104億円減少

負債 1,646億円 (94億円の減少)

- 長期資金の返済を行うことなどにより有利子負債が121億円減少
- 設備投資によりリース債務が25億円増加

純資産 1,187億円 (55億円の増加)

- 四半期純利益46億円計上、配当金の支払い15億円により連結利益剰余金は31億円増加
- 評価・換算差額等は15億円の増加

有利子負債のポイント POINT

有利子負債は、長期借入金の返済や社債の償還が進み前期末比で121億円減少し、983億円となりました。

有利子負債の状況 (単位:百万円)



第2四半期連結損益計算書(要旨) (単位:百万円)

区 分	第2四半期	前第2四半期
	2009年4月 1日から 2009年9月30日まで	2008年4月 1日から 2008年9月30日まで
売 上 高	222,302	242,816
売 上 原 価	177,573	196,287
売 上 総 利 益	44,729	46,529
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	37,216	37,461
営 業 利 益	7,512	9,067
営 業 外 収 益	767	1,096
営 業 外 費 用	1,442	1,491
経 常 利 益	6,836	8,672
特 別 利 益	1,158	29
特 別 損 失	529	2,359
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	7,465	6,343
法人税、住民税及び事業税	2,700	2,265
法 人 税 等 調 整 額	45	81
少 数 株 主 利 益	34	27
四 半 期 純 利 益	4,684	3,968

損益計算書のポイント

(括弧内は前年同期比の増減)

POINT

売上高 2,223億円 (205億円の減収)



- 加工食品事業は、業務用調理冷凍食品の低価格志向への対応遅れなどにより減収
- 水産事業は、取扱い商材の絞り込みや前期に比べ販売単価が下落したことなどから減収
- 畜産事業は、消費低迷の影響を受けて加工業者向けの原料需要が減少。新型インフルエンザの影響も加わり、輸入品の販売が落ち込み減収
- 低温物流事業は、国内は物流ネットワーク事業の新設物流センターの稼働で増収効果があるものの、欧州地域での景気の低迷やユーロ安(円高)により大幅な減収

営業利益 75億円 (15億円の減益)



- 加工食品事業は、商品アイテムの集約など利益確保を図るが、低価格志向の影響などにより減益
- 低温物流事業は、地域保管事業のローコスト運営を進めるも、海外事業の大幅な減収により減益

経常利益 68億円 (18億円の減益)



- 営業利益の減少により18億円の減益

四半期純利益 46億円 (7億円の増益)



- 前期に特別損失に計上した「リース会計基準の適用に伴う影響額」17億円がなくなったことや、アセロラ飲料事業の譲渡による「事業譲渡益」8億円を特別利益に計上

第2四半期(6カ月間)の連結業績概要

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (単位:百万円)

区 分	第2四半期	前第2四半期
	2009年4月1日から 2009年9月30日まで	2008年4月1日から 2008年9月30日まで
●営業活動によるキャッシュ・フロー	9,984	922
●投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,039	△ 7,127
●財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 17,866	5,479
現金及び現金同等物に係る換算差額	241	△ 205
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 13,680	△ 930
現金及び現金同等物の期首残高	19,564	4,121
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,883	3,190

設備の状況

①設備投資等の概要

(単位:百万円)

	第2四半期	前第2四半期
	2009年4月1日から2009年9月30日まで	2008年4月1日から2008年9月30日まで
資本的支出	11,774 (4,620)	7,088 (1,237)
設備投資額	11,307 (4,601)	6,517 (1,234)
減価償却費	6,573 (1,858)	6,742 (1,837)

(注) 上記の金額は、リース資産およびリース資産に係る減価償却費を含め当該金額を括弧内に書き記載しています。

②第2四半期連結累計期間に実施した重要な設備投資の内容

(単位:百万円)

完了年月	会社名 事業所名	所在地	事業の種類別 セグメント	設備の内容	設備投資総額	第2四半期連結累計 期間計上額(仮計上額)	完成後の 増加能力
2009年4月 (リース開始)	㈱ロジスティクス・ネットワーク 栃木物流センター	栃木県河内郡	低温物流	物流センターの新設	1,061	1,061 (1,061)	延床面積 8,140㎡
2009年5月	㈱ニチレイフーズ 白石工場	宮城県白石市	加工食品	安全・品質環境整備工事	437	154 (437)	—
2009年6月	ベジポート有限責任事業組合 旭センター	千葉県旭市	〃	青果物流通拠点センター の建設	839	574 (839)	延床面積 3,167㎡
2009年8月	Frigo Logistics Sp. z o.o. ラドムスコセンター	ポーランド ラドムスコ市	低温物流	物流センターの新設	2,063	827 (1,766)	冷蔵 43,200 t
2009年9月 (リース開始)	㈱ロジスティクス・ネットワーク 福岡物流センター	大阪市港区	〃	〃	2,667	2,667 (2,667)	延床面積 12,579㎡
2010年2月 (予定)	㈱ニチレイ・ロジスティクス関西 北港物流センター	大阪市此花区	〃	〃	*3,245	1,054 (1,056)	冷蔵 20,000 t
2010年4月 (予定)	㈱キョクレイ 山下物流センター	横浜市中区	〃	物流センターの建替 (第2期)	*2,435	682 (683)	冷蔵 12,153 t
2010年8月 (予定)	㈱ニチレイ・ロジスティクス九州 福岡東浜物流センター	福岡市東区	〃	物流センターの新設	*5,027	811 (2,651)	冷蔵 20,458 t

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれていません。
2. 「設備投資総額」の*は、計画数値です。
3. ㈱キョクレイ 山下物流センターの「完成後の増加能力」は、建替後の数値です。

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。
2. ポイントにおける記載金額は億円未満を切り捨てて表示しています。

キャッシュ・フロー計算書のポイント POINT

(括弧内は前年同期比の増減)

- 営業活動によるキャッシュ・フロー 99億円の収入(90億円の増加)**
 - 経常利益は68億円、減価償却費は65億円を計上する一方、営業資金(売上債権、たな卸資産、仕入債務)の支出や法人税等の支払いなどにより、99億円の収入
- 投資活動によるキャッシュ・フロー 60億円の支出(10億円の増加)**
 - 有形固定資産の取得などにより、60億円の支出
- 財務活動によるキャッシュ・フロー 178億円の支出(233億円の減少)**
 - 有利子負債の返済や配当金の支払いなどにより、178億円の支出

以上により、当会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前会計年度末に比べ136億円減少し、58億円となりました。

FOCUS

発展を続けるニチレイロジグループの欧州事業【ラドムスコセンター稼働】

ニチレイロジグループは、1988年にニチレイ・ホールディング・オランダ社をロッテルダムに設立し、オランダ、ドイツを中心に海外事業を展開してきました。2004年にはポーランドのフリゴ・ロジスティクス社を買収し、中東欧域への事業拡大を図りました。

また、中国上海ではコンビニエンスストア向けの物流センター運営や市内および近郊都市への冷凍食品の配送など高度で高品質な物流サービスをお客様に提供しています。

フリゴ・ロジスティクス社は、2009年8月、ポーランドの中南部ラドムスコ市で第2センターが稼働しました。首都ワルシャワから南西に180km、人口が集中する南部地域にも近く、物流拠点としては好立地です。中西部ズニンに位置する既存センターとの2拠点体制により、ポーランド全域に対する24時間以内配送を実現し、お客様から高い評価をいただいています。

ラドムスコセンターの投資額は約20億円。敷地面積50,694m²、鉄骨平屋建てで冷蔵能力は43,200 t (26,620パレット)。移動ラックと固定ラックを組み合わせた保管効率の高い設計となっています。庫内温度は-24℃、荷捌き室は0℃で温度管理も万全です。

主なお客様としては、アイスクリーム大手のユニリーバ社から国内の物流業務を、また、世界第3位の手小売業であるTESCO社から、国内156店舗への冷凍品一括物流業務を受託しています。今後は、これらの実績を活かし、高品質な物流サービスの提供により、お客様に選ばれ続ける企業として、ポーランドで、さらに近隣中東欧域への事業拡大を推進していきます。



ラドムスコセンター外観。このセンターから、ポーランド国内各地へ物流サービスを提供します



庫内温度は-24℃。熟練フォークリフトマンによる庫内作業風景

アマゾナス食品工業株式会社 ～ 天然えびを世界の市場に供給します。



アマゾナス食品工業株式会社は、1978年4月に、ブラジル北岸沖天然えびの加工、販売会社として設立された株式会社ニチレイフレッシュの海外子会社です。

地球の反対側南半球ブラジル、アマゾン川河口域にある都市ベレンにアマゾナス食品工業株式会社の加工場は位置します。

アマゾン川の大自然の恵みを受けて育ったえびは、その引き締まった身質と豊かな風味から“こだわりの素材”として、お客様から根強い評価をいただいています。

当社は、傘下の漁撈会社が漁獲するえび原料の船上処理の指導をはじめ、原料の買付、工場での加工、凍結、製品の出荷まで一貫した管理を行っています。販売先は最大の市場である日本の他、欧州(フランス)、カリブ諸島、ブラジル国内などになります。

今後も、現在のえび事業を核とし、成長が期待されるブラジル国内販売の伸長と中国等新規市場の開拓を視野に活動を行っていきます。



漁獲されたばかりのえびは、黄金色に輝いています。船上で素早く除頭処理と凍結を行います。



工場はアマゾン川支流の河口近くに所在し、敷地内にある桟橋から、えび原料の水揚げを行っています。



加工場では、えびのサイズ、品質による等級別にパックします。

会社概要 (2009年9月末現在)

社名 : アマゾナス食品工業株式会社 (Amazonas Indústrias Alimentícias S.A. - "AMASA")
 所在地 : Rodovia Arthur Bernardes, 7903, Km 14 Pratinha (Distrito de Icoaraci) Belem - Para - Brasil CEP : 66816 - 000
 設立年月日 : 1978年4月3日
 資本金 : R\$8,394,420 (ブラジルリアル)
 (株式会社ニチレイフレッシュ99.5%、ニチレイブラジル農産有限会社0.5%)
 代表者 : 代表取締役社長 内山 善司
 売上高 : R\$22,238,664 (ブラジルリアル) (2009年度: 2009年1～12月)
 従業員数 : 91名
 事業内容 : 水産物の加工・販売

株式会社 シルヴァン ～ 蘭のチカラで、キレイが咲く。

株式会社ニチレイバイオサイエンスは、2009年4月1日にニチレイグループ初となる化粧品の通信販売事業を営む子会社『株式会社シルヴァン』を設立しました。

株式会社シルヴァンで、8月から発売を開始しました「シルヴァン」シリーズは、ニチレイグループが長年の研究をしてきました彗星蘭(冷涼性の洋蘭 オドントグロッサム)の1つシルヴァンの花から、独自製法により抽出した「シルヴァンブルームエキス」を全品に配合しているのが特長です。

このエキスの化粧品への配合は、世界で初めてとなります。「シルヴァンブルームエキス」は、水分保持力が極めて高い成分を含み、保湿成分として広く用いられているヒアルロン酸の約2倍の保湿力を持つことが確認されています。

「シルヴァン」シリーズは、美容意識の高い女性に向けて、贅沢なスキンケアを優雅に堪能する喜びを提案し、幅広く雑誌広告、インターネット広告、サンプリング活動などのプロモーションを展開していきます。



商品のお問合せ先
 ☎0120-137-335
 【受付時間: 9:00～17:00(土・日・祝日・年末年始を除く)】
 Webサイト: <http://www.sylvan.co.jp/>

会社概要 (2009年9月末現在)

社名 : 株式会社シルヴァン
 所在地 : 東京都中央区銀座五丁目6番12号
 設立年月日 : 2009年4月1日
 資本金 : 1億円(株式会社ニチレイバイオサイエンス60%、昭和電工株式会社40%)
 代表者 : 代表取締役社長 金子 宏樹
 売上高 : 5億円(2011年度目標)
 事業内容 : 化粧品、医薬部外品の通信販売



シルヴァン広告



「シルヴァン」シリーズ 商品ラインナップ



社名の由来

彗星蘭の学名「Odontodia Lavender Lace' Sylvan'」から、新会社の社名を株式会社シルヴァンとしました。

Key Word

ニチレイグループならではの企業活動やトピックスなどをキーワードによりご紹介します。

地域社会貢献

食を通じて笑顔を応援するニチレイフーズでは、地域・社会貢献の分野で様々な活動を行っています。その一例をご紹介します。

楽しい工場体験

ニチレイフーズの直営工場である森工場(北海道茅部郡森町)では、2007年4月コロッケライン新設にあわせて工場見学専用通路や説明ディスプレイなど『楽しい工場体験』を意識した設備を導入しました。一般見学者第1号は、近隣婦人会の皆様をお迎えしました。

当初は、手探りのスタート、手作りの取組みでしたが、見学者の方々から「わかりやすい」、「冷凍食品のイメージが変わった」等好評で、森町近隣の小学校では17組554人をはじめ、道南地区、全国各地から年間1,500人(2008年度実績)をお迎えするなど活発なものになりました。



▲コロッケライン見学に興味津々



▼食育カルタで楽しみながら勉強



地元の小学校では当工場見学が学校年間行事の1つになりました。ますます内容も充実し、メニューの1つの「コロッケ作り体験」は、出張体験を依頼されるほどです。

これからも、地域の皆様と共生・共存し、企業市民として活動していきたいと思ひます。ニチレイフーズの「安全・安心」を伝えつつ、より一層ファンを増やす努力をしていきます。



うまく出来るかな?!参加者から好評を得ているコロッケ作り体験

日本冷凍食品事業発祥の地



「日本冷凍食品事業発祥の地」の記念碑

森町は、『日本冷凍食品事業発祥の地』です。記念碑と森町文化財に指定されている当時の『冷凍機械』が森工場の敷地内にあります。創業設立者の葛原猪平氏は1917年(大正6年)に渡米し冷凍事業を研究、米人技師を伴って帰国後、1920年(大正9年)この地で冷凍事業を開始しました。当時の冷凍設備は木炭を燃料とした木炭ガス機関でした。

Introduction

ご好評の商品をご紹介します。

本格炒め炒飯 海老塩 家庭用



フライパンで炒めたおいしさを味わえる海老入りの炒飯です。50g増量し450gへ。さらに、たけのこを加え五目の具材となりました。

お弁当にGood! からあげチキン 家庭用



冷めても、やわらかジューシーなお弁当用からあげです。味付けに香味野菜の旨みを加え、ごはんに合う、しっかりした味に仕上げました。

今川焼(あずきあん) 家庭用



はちみつを使用した生地で、ふんわりと焼き上げた今川焼です。あずきあんは、小豆の風味を引き出すために銅鍋で練り上げ、上品な甘さに仕上げています。

蔵王山麓グラタン 家庭用



蔵王山麓ミルクを使った、なめらかでリッチなホワイトソースが特徴のえびグラタンです。バターで炒めた玉ねぎでホワイトソースのコクをアップしました。

お弁当にGood! ミニハンバーグ 家庭用



シンプルで飽きのこない味付けで、冷めてもおいしいお弁当用ハンバーグです。2009年おかげさまで発売40周年を迎えました。

お母さんのおかず(6種の和惣菜) 家庭用



人気和惣菜メニュー6種のセット商品。一品一品手間ひまかけて作り上げました。メニューは、①きんぴらごぼう、②蓮根きんぴら、③ひじき煮、④切干大根、⑤いんげん胡麻あえ、⑥小松菜おひたしです。

株式の状況 (2009年9月30日現在)

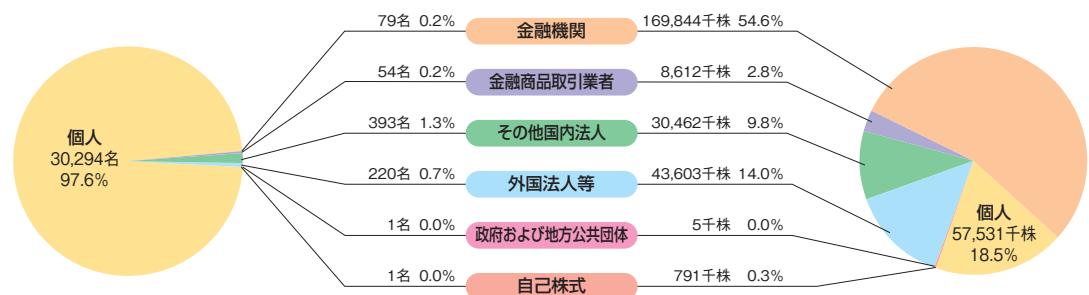
発行可能株式総数 720,000,000株
 発行済株式総数 310,851,065株
 ※発行済株式総数には、自己株式(791,013株)を含んでいます。
 単元株式数 1,000株
 株主数 31,042名

●大株主

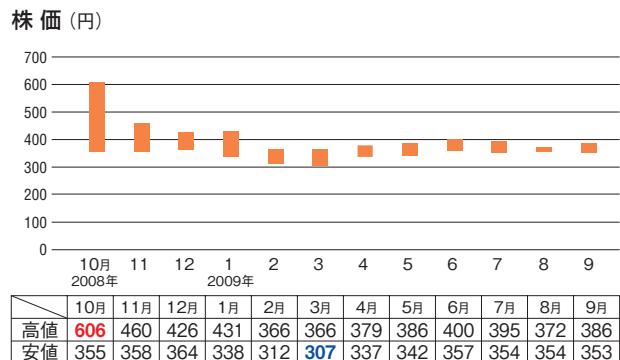
株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	22,244	7.2
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	17,609	5.7
日本生命保険相互会社	16,785	5.4
株式会社みずほコーポレート銀行	15,370	4.9
株式会社三菱東京UFJ銀行	13,903	4.5
株式会社損害保険ジャパン	11,059	3.6
第一生命保険相互会社	5,716	1.8
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	5,598	1.8
農林中央金庫	5,350	1.7
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口9)	4,481	1.4

(注)持株数は千株未満を切り捨てて表示しています。

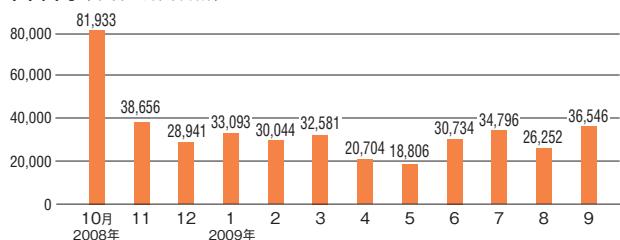
●所有者別株主数分布状況



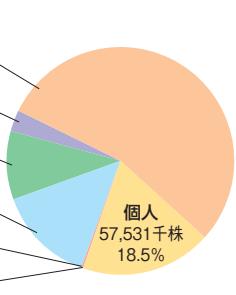
●株価チャート



●出来高 (千株・月間合計)



●所有者別株式数分布状況



会社概要 (2009年11月30日現在)

社名 株式会社ニチレイ

所在地 〒104-8402 東京都中央区築地六丁目19番20号
 ニチレイ東銀座ビル

設立 1942年12月

役員 代表取締役 会長 浦野 光 人
 代表取締役 社長 村井 利 彰
 取締役 専務執行役員 相馬 義比古
 取締役 専務執行役員 長谷川 寿
 取締役 常務執行役員 三田 勇太郎
 取締役 執行役員 河合 義雄
 取締役 執行役員 荒 剛史
 社外取締役 炭谷 俊樹
 社外取締役 川俣 美由里
 監査役 (常勤) 永塚 一昭
 監査役 (常勤) 山口 秀俊
 社外監査役 (非常勤) 齊田 國太郎
 社外監査役 (非常勤) 安念 満
 執行役員 中村 隆
 執行役員 山田 達男
 執行役員 森 康益

会計監査人 新日本有限責任監査法人
 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号 日比谷国際ビル



(株)ニチレイ本社ビル

<http://www.nichirei.co.jp/>
情報満載のホームページ

事業紹介や株主・投資家向け情報はもちろん、皆様のお役に立つ商品・サービス情報を掲載しています。

